



石川県立七尾高等学校  
SSH推進室  
R7/9/8  
令和7年度  
第6号

# 全国高等学校総合文化祭

7月26日(土)～7月28日(月)にかけて、第49回全国高等学校総合文化祭(かがわ総文祭2025)が香川県で行われました。石川県代表として本校から、自然科学部門(物理)『粘着テープにおける摩擦ルミネッセンスの発生条件について』のグループ(36H 飯井さん・辻口さん・中田さん)、自然科学部門(化学)『尿素的散布量と融解した氷の質量の関係について』のグループ(36H 浅田さん・塩崎さん・正武田さん)、自然科学部門(生物)『メダカは鏡に映った自分を「自分」と認識できるのか』のグループ(36H 磯辺さん・金沢さん・蓮本さん・平野さん)、自然科学部門(地学)『地盤内の水を減らすことによる液状化現象の防ぎ方』のグループ(36H 高木さん・坊城さん・森田さん)、ポスター部門(生物)『対峙培養法におけるヒラタケとカビの成長範囲変化』のグループ(36H 奥原さん・本多さん)が参加し、会場の香川大学において自分たちの研究について発表を行いました。

また、27日の午後からは、巡検研修で3グループに分かれ「瀬戸内海の生態系を学ぶ ～海洋調査のミニ体験～」 「多度津高校『ミニ水族館』と遠洋航海実習船『翔洋丸』の見学」 「平らな屋島と峰の並ぶ五剣山の違いを遍路道を歩いて解明しよう!」を行いました。そして、最終日の28日は、高松中央高等学校において、長谷川修一氏による「大地の成り立ちから地域を深掘りしてみよう!」の講演を聞きました。

## 物理



粘着テープにおける摩擦ルミネッセンスの発生条件について

## 化学



尿素的散布量と融解した氷の質量の関係について

## 生物



メダカは鏡に映った自分を「自分」と認識できるのか

## 地学



地盤内の水を減らすことによる液状化現象の防ぎ方

## ポスター



対峙培養法におけるヒラタケとカビの成長範囲変化



# SSH 生徒研究発表会

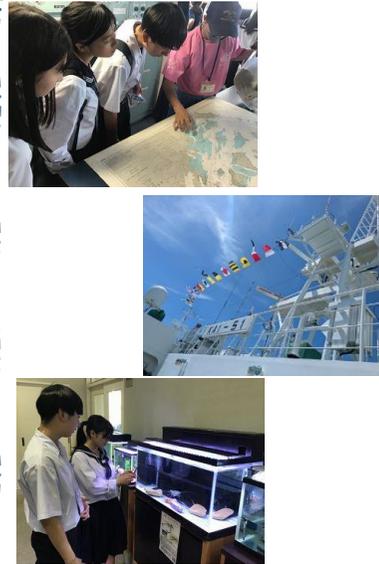
文部科学省と国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の主催で、8月6日(水)・7日(木)に、神戸国際展示場にて、令和7年度 SSH 生徒研究発表会が行われました。この発表会は全国の SSH 指定校など230校の学校が集まり、2日間にわたり自分たちの研究について発表を行うものです。本校代表として『七尾高校所蔵ヤマイヌ剥製標本は二ホンオオカミか』のグループ(36H 北谷内さん・竹澤さん・山口色葉さん・山端さん)が参加しました。



「瀬戸内海の生態系を学ぶ  
～海洋調査のミニ体験～」



「多度津高校『ミニ水族館』と  
遠洋航海実習船『翔洋丸』の見学」



「平らな屋島と峰の並ぶ五剣山の違いを  
遍路道を歩いて解明しよう!」

